

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	管理者は役員として町内会定例会に出席し、情報の交換や行事の打ち合わせに努めている。地域の学校行事や町内会が催す盆踊り、秋祭り、運動会、餅つき、防災訓練や応急救護訓練などの行事に利用者と共に参加している。また、日常的な散歩を通して地域と利用者のつながりを保つようしている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	地域の民生福祉会長、福祉関係事業者、区の職員、利用者の家族を含め、ホームにおいて2か月に1回開催し、相互の情報交換やサービスの実情等の意見交換がされている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	港区事業者会に参加して、区役所及び区社協の職員とサービスについての情報や意見の交換を行っている。認知症専門会に参加して、地域の民生委員からの情報提供を受け、サービス向上に努めている。また、港区のフェスタのブースも担当し、認知症やホームの説明、ケアの仕方等の情報を参加者に提供している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	利用者には日々の状態把握や会話を通して意見や希望等を聞く配慮し、個人記録や申し送りノートで反映させている。家族にはホーム通信で個々の近状報告をしたり、訪問時や家族会で意見や要望を常に問いかけられるようし、記録を取り会議で反映させている。また、外部者へ表せる機会や場もあることを知らせている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	×
総合評価		×

- 外部評価軽減要件
  - 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
  - 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
  - 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
  - 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の  
実践状況（外部評価）が適切であること。
- 外部評価軽減要件④における県の考え方について  
外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の  
取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

閑静な住宅地に位置し、近くには病院や学校、スーパーマーケットがあり、利用者が地域とかわりながら暮らし続けられる最良の環境下にある。利用者と共に事業所も町内行事や散歩等を通し、地域との交流に積極的に取り組んでいる。市町村との連携も積極的に協力関係を築いている。馴染みの調度品に囲まれ、菜園や散歩等戸外に出る機会も多く、日々の生活も自宅での生活と変わらない雰囲気を出している。運営推進会議をより一層円滑に機能させ、定着化させていくために、行政や地域包括支援センター職員の出席要請を積極的に行い実績を築くことを願いたい。